

# Y校会だより

発行所  
Y校会

〒231-0012  
横浜市中区相生町6-111  
一般社団法人 進交会内  
(電話) 045-681-6575  
(FAX) 045-681-6585

## 『令和5年度(2023年)Y校会幹事会・総会』を開催

令和6年2月3日(土)進交会館3階にて『2023年度Y校会総会』を役員5名、常任幹事14名、幹事38名、計57名が出席し開催しました。

下記議案について承認されました。

### 【議案】

- 第1号議案 2023年度収支報告書(案)  
承認の件 会計監査報告
- 第2号議案 2023年度事業報告(案)  
承認の件
- 第3号議案 2024年度事業計画(案)  
承認の件
- 第4号議案 規約改定承認の件
- 第5号議案 その他

※終了後に懇親会を開催しました。

## 【ご寄付の報告とお礼】

ありがとうございました。

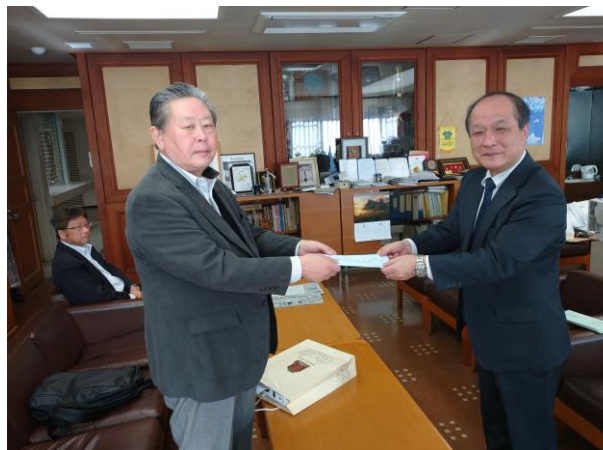
- ◎ 能登半島地震義援金  
総会開催時に出席者から頂いた募金  
15,000円を2月9日神奈川新聞社  
を通じ赤十字社に寄付をしました。
- ◎ Y校会への寄付
  - ① 33会様(昭33年卒) 92,000円
  - ② 作楽会様(昭40年卒2組有志)  
7,802円

## 海外を目指すY校生、その志に応じて — 総務・母校支援委員会 —

### 【Y校と台湾との姉妹校交流】

12月16日(金)～17日(土)台湾学生が6名、教師2名計8名が来校した。各生徒の家にホームステイし、Y校の授業、施設を見学しました。

Y校会では飲食費、記念品等の費用5万円を支援金として、Y校会中島副会長(総務・母校支援委員会委員長)から小間物校長へ12月7日に授与しました。



Y校、台湾との姉妹校交流支援金授与

### 【Y校生徒のニューヨーク研修支援の件】

令和6年3月13日(水)～16日(土)にニューヨークで開催された『UNIS—UN2024 ニューヨーク学生会議』出席者6名を支援しました。

昨年と同様、ホテル滞在、円安等で1名50万円以上の費用となったため、1名10万円×6名=60万円の支援をしました。なお、出発時期が迫っており参加生徒の保護者口座に振り込みとしました。

## 4年ぶりに【Y校会の集い】を開催

コロナ禍が終息に向かいつつある、令和5年12月2日(土)、横浜ローズホテルにて86名が参加し開催しました。

田宮国興会長の挨拶の後、古屋文雄進交会展理事長のコロナ禍のうっ憤を晴らす勢いで声高らかに乾杯のご発声をいただきました。

アトラクションは大串清氏の「正調、蝦蟇(がま)の膏(あぶら)売り」の口上を聞き茨城県つくば市の伝統芸能を味わい、恒例の豪華景品の当たる福引、そしてY校吹奏楽部OBバンドによる演奏会で盛会に終了しました。



Y校会の集い(田宮会長挨拶)

## 第10回 麻雀大会

令和元年以来3年半ぶりに開催しました。

日付：令和5年11月17日(金)

12:00 ~ 16:30

会場：雀荘「いずみ」

参加者：16名

優勝者：川口 剛史 さん(昭40)

Y校会惜別会員 (敬称略)

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

湯浅一馬(昭23) 令和6年3月18日ご逝去

内田勝啓(昭32) 令和6年2月16日ご逝去

安澤順子(昭33) 令和5年11月20日ご逝去

大田原好男(昭44) 令和5年10月16日ご逝去

河合正富(昭46) 令和6年3月23日ご逝去

## 故金田定雄先生(昭23卒)の遺品の各種算盤をY校に展示しました。

2018年(平成30年)に逝去された金田定雄先生(昭和23年Y校卒)がご存命中に収集された貴重な各種算盤が令和6年3月にご遺族からY校会に寄贈されました。

2011年(平成23年)~2016年(平成28年)までY校祭に展示し金田定雄先生が自ら来訪者に懇切丁寧に説明を行い非常に好評でした。

Y校会ではY校校舎の2階職員室前にガラスショーケースに収納、展示し生徒が日本の伝統文化算盤に少しでも興味を抱き見直してもらえることを「願ひましては」……期待します。



Y校校舎2階に展示された各種算盤



Y校祭に展示し算盤の説明をする金田先生  
(2014年11月)

## Y校会会費高額納入者

令和5年11月～令和6年3月31日)

ありがとうございました。( )内卒年、敬称略

◎ 30,000円

増田 忠士 (昭33)

◎ 28,000円

白井 広幸 (昭44)

◎ 20,000

伊澤 信行 (昭23) 青木 淳 (昭30)

荒井 良國 (昭33) 田宮 国興 (昭39)

中山 正仁 (昭46) 中島 豊 (昭46)

◎ 15,000円

大宮 勲 (S48)

◎ 12,000円

岡田 寛明 (昭29)

◎ 11,000円

北島 崇弘 (昭28) 荻原 茂夫 (昭48)

◎ 10,000円

尾野田 英俊 (昭27) 鳥海 邦博 (昭29)

中崎 田鶴子 (昭30) 佐藤 恒夫 (昭31)

内田 勝啓 (昭32) 手塚 幸子 (昭33)

森 洋子 (昭35) 森下 正勝 (昭37)

高橋 睦美 (昭37) 新田 弘子 (昭39)

渡辺 義由喜 (昭39) 二見 泰弘 (昭39)

高松 ミサエ (昭39) 鷺沢 和彦 (昭40)

友野 義之 (昭40) 大胡 隆司 (昭40)

相原 敏貴 (昭41) 重田 幹夫 (昭41)

高橋 正美 (昭43) 渡辺 光枝 (昭43)

石井 喜代志 (昭46) 小林 明 (昭46)

原 和義 (昭46) 織茂 広 (昭47)

武田 満明 (昭47) 山田 光雄 (昭51)

三田 英俊 (昭61)

Y校創設の立役者小野光景氏の功績を『漫画で知るY校のはじまり』の冊子に追加掲載しました。

— 総務・母校支援委員会 —

小野光景は財政面、運営面でY校を支え今日のY校の礎を築きました。「小野光景がいなかったらY校は存在しなかった」とも言われています。Y校会ではその功績をY校生、卒業生に広く知っ

ていただきたく、現在配布している『漫画で知るY校のはじまり』の冊子に追加掲載することとし、令和6年4月の新入生から配布することとしました。

## 漫画で知るY校のはじまり

美澤先生



Y校同窓会  
Y校会

「小野光景がいなかったらY校は存続しなかった」

## Y校創設の立役者 小野光景



Illustration by 山村レイ (2023年度卒業生)

### 小野光景関連年表

1845年 誕生：信州辰野小野村

1866年 横浜へ：21歳で父の公務を手伝う

横浜では不平等条約による貿易が行われており商業教育の必要性の声が高まった

1882年 横浜商法学校創設：福沢諭吉に校長の推薦を依頼。美澤進先生が招かれた

1888年 校名改称：横浜商法学校が横浜商業学校 (Y校) に

1917年 市移管：横浜市立横浜商業学校に改称  
学校資金面を小野光景が支援した

1919年 逝去：遺族はY校に多額の寄付を行った

### 何をした人？

商業教育の必要性を感じ、横浜商法学校の創設に尽力。学校の維持運営資金が困難となった際にも私財を投入し、日本の貿易の中心地であった横浜を教育という面から生涯に渡って支えた人物である。

### なぜ商業教育に注目？

不平等条約のもとで始まった貿易。さらに貿易経験の浅い横浜商人に対し、外国商人は相場を操り、外国に有利な取引が行われていた。そのため、英語ができ外国人と対等に商取引を行える人材の育成が必要であった。

### どのような人？

関内地区本町外13ヶ町の町長。横浜正金銀行創設、頭取。横浜商法会議所の創設主導。横浜政財界のリーダーとして活躍。

※横浜正金銀行：後に東京銀行、三菱東京UFJ銀行、現・三菱UFJ銀行に改称した銀行

※本町外13ヶ町：海岸通、元浜町、北仲通、南仲町、弁天通、堤町、大田町、相生町、住吉町、常盤町、尾上町、真砂町、港町

小野光景追補版

## 同期会 ・ クラス会開催情報

コロナ感染緩和で同期会開催の花が一斉に開花しました。

卒業年度	開催日	会場	出席者
昭和33年卒(33会)	令和6年2月14日	英一番館	51名
昭和35年卒(サンゴ一会)	令和5年11月14日	崎陽軒本店	15名
昭和43年卒同期会	令和5年11月19日	ホテル プラム	74名
昭和44年卒同期会	令和5年11月22日	崎陽軒本店	74名
昭和46年卒同期会	令和5年5月21日	ロイヤルホール横浜	83名
昭和54年卒同期会	令和5年11月26日	グレースバリ横浜 ハマボール イアス店	80名

### 応援歌 『凱歌の歌』

応援歌の中でも暗く重い歌であり、勝利したときのみ歌うとされています。

作詞者は平林敏彦氏(昭和17年卒)とのことです。Y校110年誌にご本人の記事が掲載されていますので披露します。

『凱歌の詩』ざっと50年前確か私が4年生の頃に作詞した応援歌である。(中略)

当時、Y専の学生が講堂で斉唱していた歌のメロディに魅せられた私が、勝手に歌詞を当てはめたもので、荘重な感じが出せればと頭をひねった記憶がある。教師の相談したわけではなく、ごく自然に生徒が歌ってくれたのもY校の自由な校風によるものだろう。歌詞に(千余の眉)とあるのは当時全校生徒数がたしか1,200名くらいだったからで、

(嗚呼蕩々と60の)は創立60周年に当たっていたからだ。この辺は時代に応じて訂正した方がいいかもしれないが、希望を言えば、優勝しなくても勝ったときに歌って欲しいと思う。

#### 【平林敏彦氏プロフィール】

詩人 草鹿宏の名で作家としても活動。横浜市生まれ。戦時戦後、第一次「ユリイカ」創刊と同時に編集に携わる。1993年、詩集『磔刑の夏』で富田碎花賞、2005年、『舟歌』で現代詩人賞、2009年、『戦中戦後 詩的時代の証言』で桑原武夫学芸賞受賞。2012年、第18回横浜文学賞受賞<sup>4</sup>。2015年、『ツィゴイネルワイゼンの水邊』で小野十三郎賞受賞。

4月23日(火) 社会見学会『太田・品川まち

巡り』～大井競馬場

- 5月18日(土) 小野光景勉強会  
講師：山田瑛氏
- 6月 6日(木) Y校会セミナー『楽しみながら  
元気に長生きできる健康法』
- 21日(金) 麻雀大会
- 23日(日)～24日(月) 歌舞伎鑑賞教室
- 7月(未定) 糸掛け講習会
- 8月 3日(土) 暑気払い
- 9月13日(金) 美澤進校長墓参会
- 18日(火) 小野光景墓参会
- 10月(未定) 小野光景記念館他関連施設訪問
- 11月(未定) 麻雀大会
- 12月7日(土) Y校会の集い

## 1. Y校会2022年度(令和4年度)収支報告書(令和4年1月1日～令和4年12月31日)

### 【収 入】

(単位 円)

科 目	一般会計	母校支援基金	合 計
(前期繰越)	2,461,085	4,174,348	6,635,433
Y校会会費	1,489,848		1,489,848
利息	11	32	43
合 計	3,950,944	4,174,380	8,125,324

### 【支 出】

科 目	一般会計	母校支援基金	合 計
総会費用	59,350		59,350
部活動・同期会支援金	25,000		25,000
墓参会費用	129,550		129,550
140周年祝賀会開催費	1,196,715	643,000	1,839,715
会議費	85,945		85,945
郵送費	141,664		141,664
郵便局振替手数料	96,940		96,940
台湾学生 YSF 支援金	30,000		30,000
ニューヨーク海外研修奨学金	0		0
Y校 SDGs活動支援金	0		0
印刷費・写真	373,190		373,190
交通費	7,300		7,300
雑費・消耗品	572		572
振込手数料	6,110		6,110
その他事業費	94,820		94,820
合 計	2,247,156	643,000	2,890,156
次期繰越	1,703,788	3,531,380	5,235,168

## 2. 2022年度(令和4年度)事業報告

月 日	実 施 事 業
-----	---------

3月	「漫画で知るY校のはじまり」を入学予定者に配布
5月・10月	Y校会だより15・16号発行
6月	Y校商業科リーフレット作成し、Y校へ配布
6月25日(土)～26日(日)	歌舞伎鑑賞教室開催 藤沢市民ホール 25名参加
7月 2日(土)	Y校会総会を進交会館3階で開催
9月17日(土)	美澤進先生100回忌法要を久保山円覚寺別院にて執り行う 続いて、墓前にて、墓前報告祭を執り行う
11月11日(金)	【Y校創立140周年記念式典】(Y校主催)
12日(土)	みなとみらい大ホールにて学校関係者が主となり開催 【Y校創立140周年記念祝賀会】(Y校会主催) 横浜ロイヤルパークホテルにて191名が参加し開催
12月 2日(金)	『濱っ子寄席』鑑賞 関内ホール 17名参加
16日(金)	YSF に参加の台湾学生に140周年記念品を配布し懇談会費用を
～ 17日(土)	支援
通年	1. Y校会のPR → 昭和49年～63年卒(2, 459名)に対し「Y校 創立140周年祝賀会案内チラシ」「Y校会だより」「会費納入協力 依頼」を送付し、63名から181, 000円の会費納入があった。 2. 正会員の増員 → 対前年度56名(454名→510名)

※ 開催中止行事：台湾、ニューヨーク海外研修支援、社会見学会(5月)、麻雀大会(11月)、Y校会の集い(12月)

### 3. 2023年度(令和5年度)事業計画

委員会	予定月	予定事業内容
広報・財務 委員会	通年	1. 「Y校会だより」の発行 …… 4月・10月を予定 2. 進交会紙面にY校会活動を掲載し大々的にPRをする 3. 各年度幹事及び会員相互の『友呼び作戦』の推進 4. 過去の会費納入者への再アプローチ 5. 60才・65才・70才・75才・80才同期会へのアプローチ 6. 卒後30年(平成4年卒)・40年(昭和57年卒)同期会開催推進 7. 進交会におけるY校会の位置付けについての説明を推進する。 8. 部活OB会情報交換会を開催し各OB会の活性化を図る。 9. 進交会におけるY校会の位置付けについての説明を推進する。 (SNSの活用を検討)
企画・運営 委員会	5月	社会見学会(小野光景氏の功績に理解を深め関連施設を訪問)
	6月	麻雀大会
	7月	歌舞伎鑑賞教室(26日・27日神奈川県青少年センターにて開催)
	8月	暑気払い
	9月	『美澤進校長墓参会』
	11月	麻雀大会
	12月	『濱っ子寄席』鑑賞 Y校会の集い
総務・ 母校支援 委員会	通年	1. 台湾・ニューヨーク海外研修奨学金の贈呈 2. 横浜市ふるさと納税制度を活用しY校への支援を検討実施 3. Y校生徒のSDGs活動への支援を実施 4. 「漫画で知るY校のはじまり」を入学者に配布

		5. 「小野光景のY校創設について」を作成し、入学者への配布を検討 6. Y校への支援案件の企画・実行 7. 「Y校時報」のデジタル化を図る(スキャニングしCDに書き写す) 8. 各卒年度の代表幹事8名体制の確立 (昭和50年代以降の幹事を重点的に行なう) 9. Y校会近畿支部の創設を検討
--	--	--

#### 4. 令和4・5年度役員名簿

(敬称 略)

会 長	田宮 国興	39年	常任幹事	川口 剛史	40年
副会長	相原 敏貴	41年		五十嵐 裕子	43年
	中島 豊	46年		菅野 歌子	44年
	武田 満明	47年		梅澤 孝夫	45年
常任幹事	大宮 勲	48年		石井 喜代志	46年
	北島 崇弘	28年		島田 章	52年
	手塚 幸子	33年		星野 匡	53年
	矢部 和郎	34年	会計監事	永井 信義	60年
	谷津 章一	35年		村上 幸宏	47年
	宇治 真人	37年	顧問	勝島 章一郎	56年
	宮下 和光	38年	相談役	加納 和明	26年
	菊地 富美子	39年		山田 瑛	第21代校長
	谷内田 丈夫	40年		古屋 文雄	第26代校長

#### 凱歌の歌

#### 応援歌

1924年横浜市生まれ。戦中に詩作をはじめ、「若草」「文芸汎論」「四季」などに発表。戦後、同人誌「新詩派」「詩行動」「今日」を創刊。第一次「ユリイカ」創刊同時の編集に携わる。詩集に『磔刑の夏』(93年、第五回富田碎花賞)、『舟歌』(2005年、第二十三回現代詩人賞)などがある(本データはこの書籍が刊行された当時に掲載されていたものです)